

製品保証について

保証の内容は下記の通りとさせていただきます。





保証期間	本製品は保証期間、製品お買い上げ日より1年間です。
保証内容	取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。 1) 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申し付けください。 2) お買い上げの販売店にご依頼にならない場合には、お近くの当社修理ご相談窓口にご相談ください。
保証の免責事項	保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。 1) 使用上の誤り及び不当な修理改造による故障及び損傷 2) お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷 3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定以外の電源（電圧・周波数）などによる故障及び損傷 4) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷 5) 施工上の不備に起因する故障や不具合 6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷 7) 日本国内以外での使用による故障及び損傷


設置される方へのお願い

<ul style="list-style-type: none"> ● 予め、電力会社への「系統連系申請」が必要になります。当該電力会社へ必ずご相談ください。 ● 火災予防条例により、消防へ工事着手の10日前までに届け出が必要になります。また、工事完了から4日間以内にも届け出が必要になります。設備導入を検討するにあたり、所轄消防窓口へ必ずご相談ください。 ● 設備工事前に施工説明書をよくお読みになり、正しく安全に設置してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 設置工事終了後、動作確認を必ず行うとともに“取扱説明書”にそってお客様にご使用方法、お手入れのしかたなどを説明してください。取扱説明書は、保証書とともにお客様で保管いただくよう依頼してください。 ● 施工説明書に従わなかったために生じた故障・事故などについて、当社では責任を負えません。 ● 日本国内以外での使用はできません。
---	---

安全上の注意 ※必ずお守りください

● 人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明します。	● 誤った使い方をしたときに生じる危害や、損害の程度を区分して説明しています。
---	---

	 してはいけない内容です。	 実行しなければならない内容です。
 警告	<ul style="list-style-type: none"> ● 屋内設置モデルを屋外に設置しない(屋外はオプション扱いとなります)。火災、感電、漏電の原因となります。 ● 医療機器、防犯機器、コンピュータ等のデータ保存機器には使用しない。誤動作による事故の原因となります。 ● 定格電流以上の変圧器の励磁突入電流や電動機などの起動電流を流さない。誤動作による故障の原因となります。 ● 定格電流以上のラッシュ電流が流れるコンデンサインプット機器等には使用しない。誤動作による事故の原因となります。 ● 絶対に分解・修理・改造は行わない。火災・やけど・感電・けがの原因となります。 ● 変動が大きな負荷は接続しないでください(溶接機等のパルス負荷、フリッカ負荷)。 ● 力率改善(進相)コンデンサを接続しないでください。 ● 高温、多湿、ホコリの多い場所(車庫、納屋、物置、脱衣所など)、水や油の蒸気にさらされる所(厨房など)、海浜地区など塩分の多い所、直射日光のあたる所には設置しない。火災の原因となります。 ● ケーブル類を破損するようなことはしない。傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。 ● ぬれた手でブレーカ、ボタン類の操作はしない。感電することがあります。 ● すき間や排気ファン部の中に手を入れたり、異物を差し込んだりしない。けが・感電の原因となります。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 設置工事は専門業者に依頼すること。感電、けが、火災のおそれがあります。 ● 設置は製品の重量に十分耐えられるところに確実にを行うこと。けが、故障の原因となります。 ● アンカーボルトで機器を確実に固定すること。けが、感電、火災の原因となります。 ● 電気工事は「法的有資格者」に依頼すること。 ● 電気設備技術基準に基づき、必ず電気工事士によるC種接地工事を行うこと。故障や漏電のときに、感電する原因となります。 ● 本機内部の蓄電ユニットには電気が蓄えられており、感電しないように取り扱いには十分注意すること。入力電源を遮断しても蓄電ユニットからの放電により感電するおそれがあります。
 注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 移動・輸送時に転倒・落下させない。けがの原因となります。 ● 近くで発熱機器および蒸気の出る機器を使用しない。火災の原因となることがあります。 ● 本機の通気口をふさがない。内部の温度が上昇し、火災・寿命低下の原因となります。 	

	使用済み蓄電池のリサイクルに関するお願い	使用済み蓄電池の破棄に関しては、当社担当窓口へご連絡ください。蓄電ユニットは絶対に解体しないでください。
---	----------------------	--

東芝インフラシステムズ株式会社

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34 (ラゾーナ川崎東芝ビル)

社会システム事業部 エネルギーソリューション営業第一部 TEL.(044) 576-6635 エネルギーソリューション営業第二部 TEL.(044) 576-6636

北海道支社 〒063-0814 札幌市西区琴似4条2-1-2 ☎(011) 624-1050	関西支社 〒530-0017 大阪市北区角田町8-1 (大阪梅田ツインタワーズ・ノース) ☎(06) 6130-2144
東北支社 〒980-8401 仙台市青葉区本町2-1-29 (仙台北町ホンマビル) ☎(022) 264-7611	中国支社 〒730-0017 広島市中区鉄砲町7-18 (東芝フコク生命ビル) ☎(082) 212-3633
新潟支店 〒950-0088 新潟市中央区万代3丁目1-1 (新潟日報メディアシップ) ☎(025) 246-8220	四国支社 〒760-0023 高松市寿町2-2-7 (いちご高松ビル) ☎(087) 825-2433
金沢支店 〒920-0919 金沢市南町5-20 (中屋三井ビル) ☎(076) 224-2811	九州支社 〒810-8555 福岡市中央区長浜2-4-1 (東芝福岡ビル) ☎(092) 735-3023
中部支社 〒450-6630 名古屋市中村区名駅1丁目1番3号 (URゲートタワー30階) ☎(052) 564-9190	沖縄支店 〒900-0015 那覇市久茂地1-7-1 (琉球リース総合ビル) ☎(098) 862-3041

東芝ITコントロールシステム株式会社

〒183-8511 東京都府中市東芝町1番地 (東芝府中事業所)

社会インフラ統括部 メカトロ・エレクトリックシステム営業部 TEL.(042) 314-1560

●本資料の内容は技術の進歩などにより、予告なしに変更されることがあります。●本資料に記載の製品名称は、それぞれ各社が登録商標または、商標として使用している場合があります。●本資料に掲載しております製品及び役務などをご購入の際、消費税が付加されますのでご承知をお願いします。●本資料掲載の系統図および構成例以外のシステムについてはご照会ください。●写真は、実際の使用状況と異なる場合があります。●本資料に掲載されている技術情報は、製品の代表的動作・応用を説明するもので、本資料の配布をもってその使用に際して当社及び第三者の知的財産権その他の権利に対する保証または実施権の許諾を行うものではありません。●本製品の使用または使用不能により生ずる付随的な損害(事業利益の損失、事業中断、事業情報の損失、またはその他の金銭的損失を含むがこれに限られない)に関して当社は一切の責任を負いかねます。●本資料に掲載されている製品を、国内外の法令、規則および命令により製造、販売を禁止されている応用製品に使用することはできません。●本資料に掲載されている製品を輸出する場合などにおいては、輸出管理法により規制される場合があります。また、輸出先所在国等の輸出管理法により規制される場合がありますのでご注意ください。●本資料に掲載されている製品には、米国輸出管理規制の規制を受けた製品が含まれており、輸出する場合、輸出先によっては米国政府の許可が必要です。●本資料の内容は2023年4月現在のものです。

TOSHIBA

V2Xシステム

マルチパワーコンディショナ



エネルギーリソースの組み合わせで相乗効果を発揮し、カーボンニュートラルの実現と安全な社会作りに貢献します。

電源システムでお困り事はありますか？

- 環境負荷を少なくしたい
- 色々な再生可能エネルギーをつなげてカーボンニュートラルを実現したい
- 電気自動車を電源設備とつなげて活用したい
- 非常時にも備えておきたい

東芝のマルチパワーコンディショナが、解決いたします。

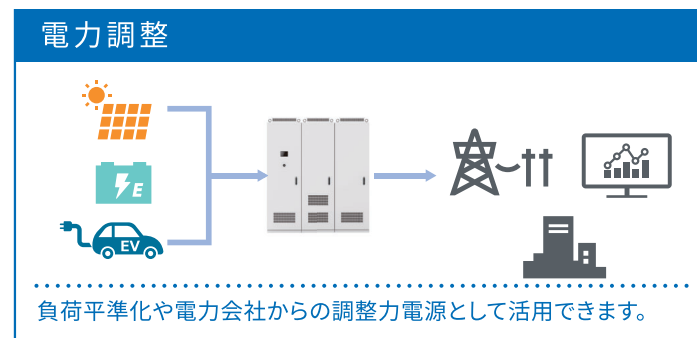
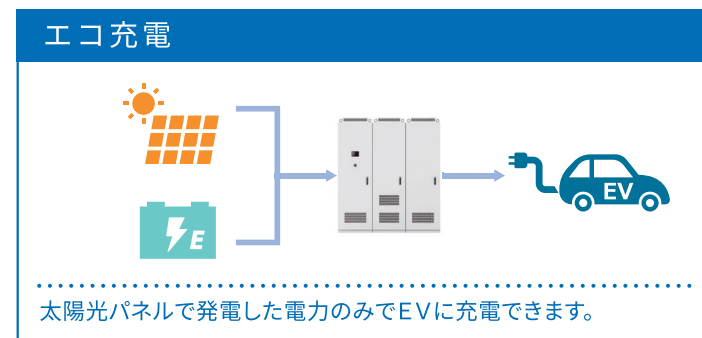
太陽光パネル・蓄電池に加えて普及拡大が見込まれる電気自動車(EV)に直流リンク接続を行い、最大50kW出力可能な実用性に優れたオールインワン製品です。

様々な分散電源(再生可能エネルギー)の活用に貢献いたします。



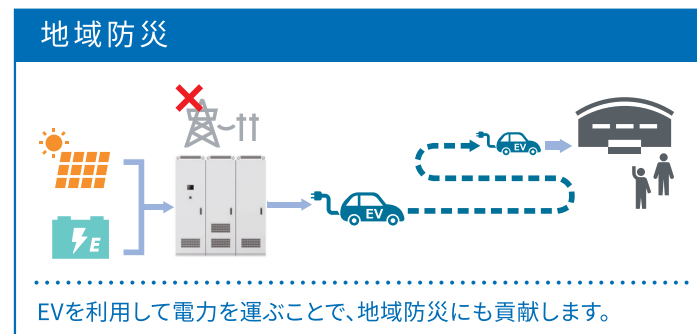
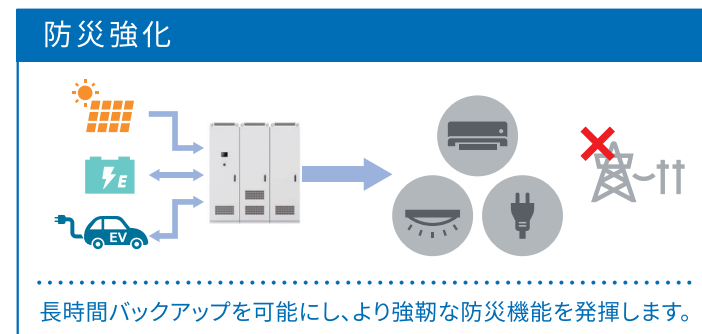
平常時:カーボンニュートラルの実現に向けて

- 2050年温室効果ガス排出を実質ゼロ(日本成長戦略)
- RE100発足。脱炭素化へ注力企業が増加
- 脱炭素社会実現へ自動車のEVへのシフト



非常時:もしもの時の電源確保

- 増大する豪雨・台風・地震等の大災害への対策
- 避難所等の供給力・予備力の強化
- EV充電での電力需要増大に対する地域間連携の電力インフラの強化



■ 製品の特長

直流リンク接続により高効率かつ効果的に使用可能

蓄電池・太陽光パネル・EV用充放電器を直流で接続することで、太陽光パネルで発電した電力を効率的に充電可能です。また、オールインワンとすることで管理や制御が容易に可能です。

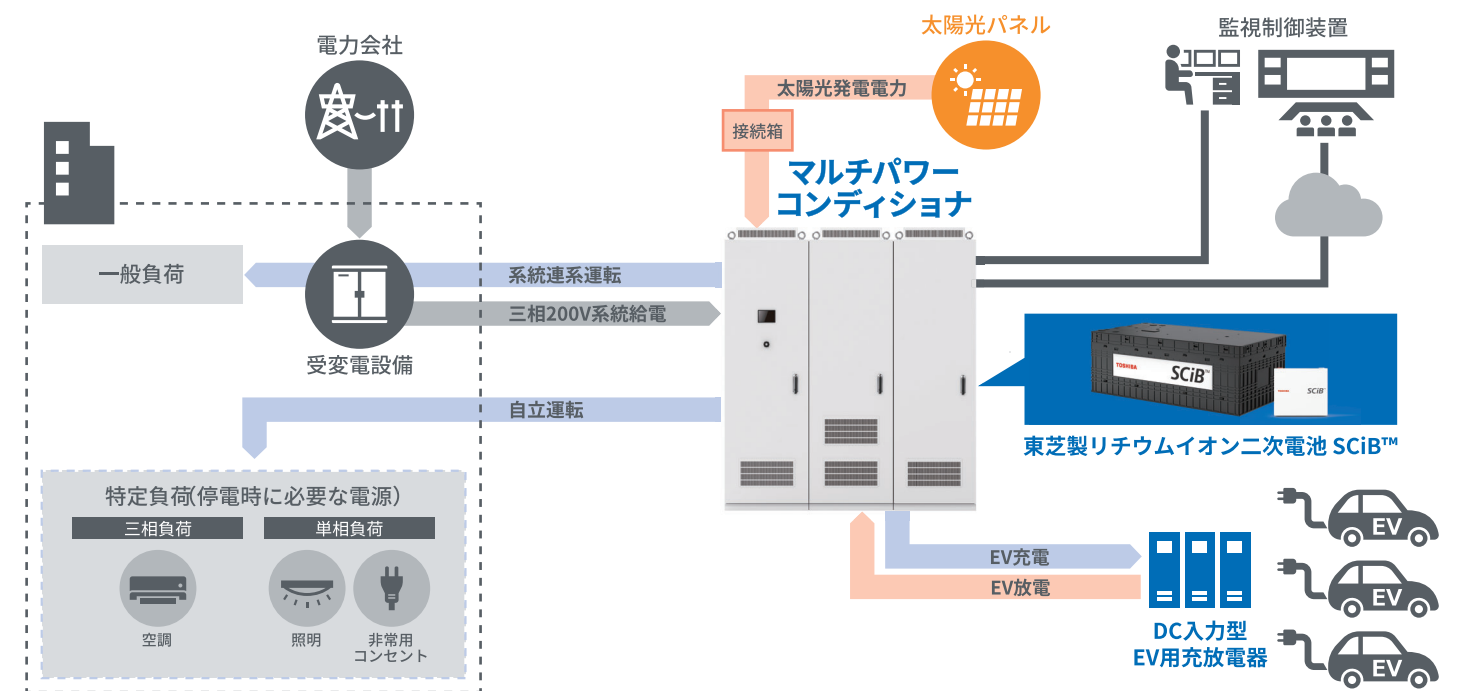
EVをピークカット・非常用電源として活用可能

最大10台までEV用充放電器が接続でき、EVから最大50kWの三相出力が可能です。

安全・高性能なリチウムイオン二次電池(SCiB™)

車載用で使用される安全性、充放電20,000回以上の長寿命、-30°Cの低温での動作等、優れた諸特性を持つ東芝製二次電池(SCiB™)を使用しています。

■ マルチパワーコンディショナ(V2X*)の構成例 *V2X:Vehicle to Everything



■ 本体標準仕様一覧

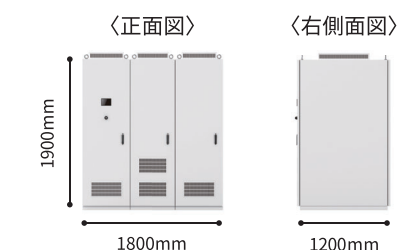
型 式	MPCS-LIB-B500	
系 統 入 出 力	系 統 連 系	三相連系
	定 格 出 力	50kW
	定 格 電 圧	202V±20V
電 池 容 量	標 準 構 成	49.6kWh
	最 大 構 成	49.6kWh～545.6kWh (24.8kWh単位で拡張可能)
太陽光発電設備接続	DC連結(55kW)	
E V 用 充 放 電 器	出 力	5kW/台
	台 数	1～10台
機 能	自立運転、ピークカット、逆潮流抑制、PVブラックアウトスタート、劣化診断機能	
設 置	屋内/屋外(屋外パッケージ内に収納)	
上 位 通 信	Ethernet	

■ 外形イメージ

● マルチパワーコンディショナ

〈構成内容〉

系 統 連 系 出 力	50kW
P V 用 D C / D C	55kW
蓄 電 池 容 量	49.6kWh
設 置	屋内



● EV用充放電器

